

(51)Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 9 D 17/00	P U J		C 0 9 D 17/00	P U J
7/12	P S M		7/12	P S M
11/00	P T S		11/00	P T S
G 0 2 B 5/20	1 0 1		G 0 2 B 5/20	1 0 1
G 0 3 F 7/004	5 0 5		G 0 3 F 7/004	5 0 5

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 13 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平8-218726

(22)出願日 平成8年(1996)8月20日

(71)出願人 000105947  
サカタインクス株式会社  
大阪府大阪市西区江戸堀1丁目23番37号

(72)発明者 岩瀬 孝司  
大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 サカタ  
インクス株式会社内

(72)発明者 新谷 岳彦  
大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 サカタ  
インクス株式会社内

(72)発明者 内山 範之  
大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 サカタ  
インクス株式会社内

(74)代理人 弁理士 朝日奈 宗太 (外1名)

最終頁に続く

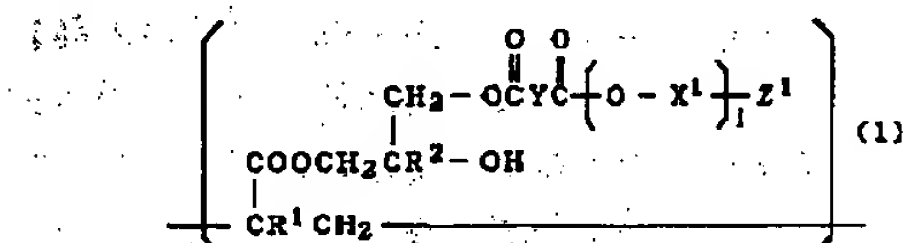
(54) 【発明の名称】 顔料分散物及びそれを用いた被覆剤組成物

(57) 【要約】

**【課題】** 非水溶媒中で顔料濃度が高くても微分散安定化の向上された顔料分散物を提供する。

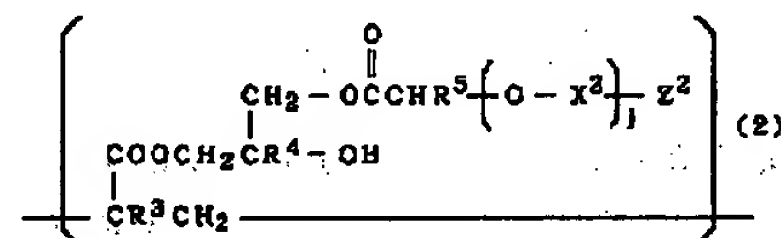
【解決手段】 顔料、溶媒、顔料分散剤、及び必要に応じてバインダー樹脂を含む顔料分散物において、顔料分散剤として、重量平均分子量3,000~100,000のグラフト共重合体であって、当該グラフト共重合体中、一般式(1)及び／又は一般式(2)で表される構成単位を少なくとも10モル%相当する量、及び一般式(3)及び／又は一般式(4)で表わされる構成単位を少なくとも10モル%相当する量含有するグラフト共重合体を、顔料100重量部に対して少なくとも0.2重量部含有することを特徴とする顔料分散物。

【化 19】



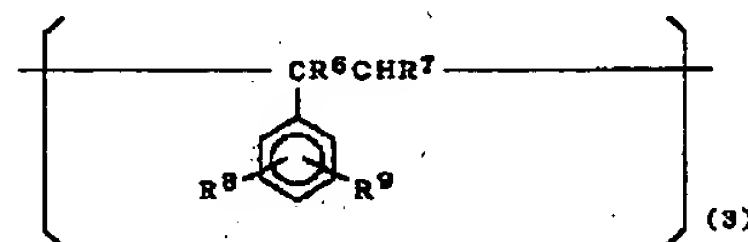
(式中、 $X^1$ は炭素数が2～4の範囲にある2価の炭化水素基を、 $i$ は1～100の範囲の整数を示す)

【化20】



(式中、 $X^2$ は炭素数が2～4の範囲にある2価の炭化水素基を、 $j$ は0～100の範囲の整数を示す)

【化 2 1】



【化 2 2】

